

福医大泌尿器科学講座の同門会

一杉会に学会医療賞

県内初 復興への取り組み評価



徳長智達 伊達会

福島医大医学部泌尿器科学講座の同門会

「一杉(いっさん)会」

は第九回日本泌尿器科学会医療賞を受けた。

同学会が毎年度、泌尿器科医療の領域で国民の健康増進や福祉向上に貢献した団体や個人をたたえており、県内

の受賞は初めてという。授賞式は二十七日

に東京都で開かれる学会の代議員総会の席上、行われる。

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故

からの泌尿器科医療の復興を目指す取り組みが優れた評価を受けた。具体的には、震災発生直後、会員のネットワークを生かして救急診療や避難所への往診、深夜透析などに当たった。若手泌尿器科医の確保を目指す取り組みや、風評被害の払拭(ふっしょく)に向けた活動も進めている。

伊達智徳会長(七七)「藤田総合病院元副院長は二十四日、福島民報社の取材に「受賞で大きな変うれしい。県内の泌尿器科医療の発展を目指す上で励みになる」と喜びを語った。

一杉会は、福島医大医学部泌尿器科学講座に所属経験のある百人以上の医師らで構成する。